

「彩夏到来 08 埼玉総体」柔道ルネッサンス スピーチ原稿

埼玉県立伊奈学園総合高等学校 柔道部 おぎわらひろし 萩原宏史

みなさんこんにちは。

埼玉県立伊奈学園総合高等学校柔道部の萩原宏史です。

本日は選手達の試合前の貴重な時間をお借りして、僕の柔道ルネッサンスへの考えを話したいと思います。

今回の会場の埼玉県では、「柔道ルネッサンス」の一環として試合後先生方をはじめとする選手皆で武道館内のゴミ拾いをしたり、トイレのスリッパをそろえたりしました。

その時、係りの先生が、「日本武道館で一番使って欲しくない人たちは柔道の人達らしいです。」とおっしゃっていたことがとても印象に残っており、大変残念に思いました。

しかし、現在ではこのルネッサンス運動によって柔道界全体の意識が大きく変わってきたと思います。本来の柔道の精神、日本人の心に立ち戻り、技術面だけでなく精神面にも大きく向上していると思います。

今こそ、柔道のすばらしさを社会全体に発信するためにも、このインターハイを機に皆さんに心がけていただきたいことがあります。

脱いだ靴をそろえる。ゴミを拾う。次に使う人のことを考えて行動する。

小さなことからでもいいので実践していきましょう。

ご清聴、ありがとうございました。

平成 20 年 8 月 6 日 (水) 男子団体試合開始前

平成 20 年 8 月 8 日 (金) 女子団体試合開始前

埼玉県立武道館にて